



一般臨床の先生方に向けた口腔がん対策

～ 歯科医院で救える命がある ～



柴原 孝彦 先生

東京歯科大学 口腔顎顔面外科学講座 主任教授
東京歯科大学 口腔がんセンター長

- 1979年 東京歯科大学 卒業
- 1984年 東京歯科大学大学院歯学研究所 (口腔外科学専攻) 修了
- 1984年 東京歯科大学 口腔外科学第一講座 助手
- 1986年 国立東京第二病院 歯科口腔外科に出向
- 1989年 東京歯科大学 口腔外科学第一講座 講師
- 1993年 学命によりドイツハンノーバー医科大学に留学
- 2000年 東京歯科大学 口腔外科学第一講座 助教授
- 2004年 東京歯科大学 口腔外科学第一講座 主任教授 (現 口腔顎顔面外科学)
- 2010年 東京歯科大学千葉病院 副院長 (現 千葉歯科医療センター)
- 2019年 東京歯科大学 口腔がんセンター長 (2012-13年)

今年2月、元アイドルの口腔がんカミングアウトは歯科界に激震を与えました。昨年夏から口内炎を自覚し、治療をかかりつけ歯科医に委ねたところ、ステロイド軟膏の処方、さらにレーザー照射を繰り返していたとのこと。褥瘡性潰瘍または慢性再発性アフタならば適切な治療となりますが、口腔がんや前がん病変（現在では口腔潜在的悪性疾患）であれば病態はさらに悪化しがん化へと進展させます。今年に入って彼女は、口内炎発症から約半年が経過し他院で『舌がんステージⅣ』と診断されました。一般開業歯科医院の対応に、問題はなかったのでしょうか？口腔粘膜は、どのように変化していったのでしょうか？

今回の講演では、このあたりにフォーカスし、解説を試みたいと思います。口腔粘膜の組織から病理までの臨床症状も併せて多くの口腔粘膜病変を診ていただきます。特に初期の口腔がんは、他の粘膜病変と鑑別が難しいことがあります。なかでも、難治性歯周病と初期の歯肉がんは酷似しています。経過を診てよい粘膜疾患なのか、潜在的悪性能をもった病変なのか見抜くことも重要です。

一般的な診察にあたっては経験に基づいた視診と触診が基本ですが、最近のトピックスとして、初心者にも判断が可能な蛍光装置による粘膜観察があり、口腔がんのみならず潜在的悪性能の判断も可能となりました。このご紹介もしたいと思います。

「一口腔単位を守るのは歯科医の責務」この矜持を抱いていただける、明日の診療に役立つ講演を企画します。

開催日：2019年12月1日(日) 13:00-17:00

会場：広島県歯科医師会館／ハーモニーホール(2F)
広島県広島市東区二葉の里三丁目2番4号

定員：120名 ※先着順

対象：松風歯科クラブ会員・広島県歯科医師会会員(無料) ※ご同伴3名まで

FAXからのお申込み

FAX.075-561-1198

WEBからのお申込み



歯科医院・歯科技工所名 受講者名	ヨミガナ □松風歯科クラブ会員番号 () □広島県歯科医師会 会員
	ヨミガナ ご同伴者名 ※3名まで
住所 〒 _____ □ 医院・技工所 □ 自宅	お取引先歯科商店名 有限会社マルヤマ歯科商店
TEL. _____	FAX. _____

今後弊社から、新製品やセミナー等の情報をお送りさせていただいてもよろしいでしょうか。 はい いいえ
 弊社は、お客様からご提供いただきましたお名前、ご住所、お勤め先、お電話番号等の個人情報は、今後弊社で開催するセミナー及び研修会のご案内、並びに製品情報のご提供のために利用し、管理いたします。

■日本歯科医師会生涯研修の単位が取得できます。 ■会場でのビデオカメラ・カメラ・スマートフォン等による撮影およびボイスレコーダー等による録音は、ご遠慮ください。

お問合せ 株式会社松風 営業部 営業企画課 松風歯科クラブ臨床講座係 TEL.075-561-1279 受付時間 9:00-12:00 / 13:00-17:00 ※平日のみ



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

●本社:〒605 0983京都市東山区福福上高松町11 TEL(075)561 1112(代)

●支社:東京(03)3832-4366 ●営業所:札幌(011)232-1114/仙台(022)713-9301/名古屋(052)709-7688/大阪(06)6330-4182/福岡(092)472-7595

<http://www.shofu.co.jp>